



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2019 - 2020 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」

R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニ  
地区ガバナー 新本 博 司

クラブテーマ 「『温故知新』ロータリーを学びましょう。そして、美しいクラブ'浅草中央'の実現を!」  
クラブ会長 潮 田 幸 一



## 本日の卓話

「超高齢社会と介護保険制度」

東京銀座新 RC (株)高齢者住宅新聞社 代表取締役 網谷敏数 様

2019年7月31日

第1587回例会

会長 潮 田 幸 一  
幹事 矢 野 幸 士

## 今後の卓話予定

- 8/7 「浅草のインバンド対応」  
王様堂製菓(株) 代表取締役社長 木村秀雄 様
- 8/14 定款休会
- 8/21 「75歳まで働くライフデザイン」  
千葉商科大学 教授 伊藤宏一 様
- 8/28 クラブフォーラム



8月結婚記念日

29日 (31周年) 園部ご夫妻

## 前回 (7/17 1586 回例会) の記録

### 来訪者紹介

- ◆ゲスト 4名  
第2580地区ガバナー 那覇RC 新本 博司 様  
ガバナー補佐 東京リバーサイドRC 遠藤 憲治 様  
分区幹事 東京リバーサイドRC 笠島 伸介 様、地区副幹事 東京小石川RC 谷一 文子 様
- ◆ビジター 1名  
東京浅草RC 坂 真太郎 様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
51名	0名	9名	48名	1名	97.96%	1584回例会修正 出席率 94.00%

### 会長挨拶<潮田会長>

- ・本日は「ガバナー公式訪問」です。新本ガバナーによる当地区初の卓話です。地区テーマ「奉仕の実践/平和で明るい未来」をしっかりと勉強し、クラブの活動に繋げ

ていきたいと思います。

- ・本日、例会終了後、クラブ事務所に於いて、「会長ノミニー推薦委員会」を開催いたします。メンバーの方はご参集の程よろしくお願ひ申し上げます。

### 幹事報告<矢野幹事>

- ①クラブの公式サイトを大幅にリニューアルし、スマートフォンでの閲覧に対応しました。そのシステム構築変更の為、例会出席確認システムは当面休止とし、今後検討させていただきます。
- ②メール・メーリングリストの手引書を配布し

ました。御一読ください。メーリングリストにおいて、クラブ内の情報発信・共有にはml-member@を御活用頂き、ml-syuuhou@は週報配信用にて退会者にも届く為、原則使用されなくてください。

- ③次週7月24日の例会は定款休会となります。

## 委員会報告

＜青少年奉仕・ローターアクト委員会 常見委員長＞  
・7月7日ローターアクトクラブ第1回決起例会  
がありました。参加頂いたメンバーありが

とうございました。又、8月4日に第2回  
の例会があります。時間は15時30分からで  
す。詳細は別途メールにてご案内致します。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## ニコニコボックス

＜潮田会長、矢野幹事＞

・新本ガバナーはじめ、ガバナー補佐、分  
区幹事、地区幹事、皆様の御来訪を心よ  
り歓迎致します。

＜片岡、太田、松本、澤野、吉沼、上原、上野、宮村、  
古谷、天笠、大塚、藤掛、植木、小林(雅)、  
伊石、後上、江連、渡辺、長島、丸岡、伊藤＞

・ガバナー公式訪問、新本ガバナー、遠藤ガバ

ナー補佐、笠島分区幹事、谷一地区副幹事、  
山尾地区副幹事、歓迎いたします。

＜鵜原＞

・長沼さん、先日はお世話になりました。あ  
りがとうございました。

＜加藤、浜中、山尾、立野、長島＞

・2020オリンピックを目指してがんばれ日本！  
水泳世界選手権を応援します。

## 卓 話

### ガバナー公式訪問



卓話者 第2580地区ガバナー

新 本 博 司 様

来訪者：第2580地区	ガバナー	新 本 博 司 様 (那覇 RC)
	ガバナー補佐	遠 藤 憲 治 様 (東京リバーサイド RC)
	分区幹事	笠 島 伸 介 様 (東京リバーサイド RC)
	地区副幹事	山 尾 尚 司 様 (東京浅草中央 RC)
	地区副幹事	谷 一 文 子 様 (東京小石川 RC)



笠島分区幹事 遠藤ガバナー補佐 新本ガバナー 谷一地区副幹事  
矢野幹事 潮田会長 山尾地区副幹事

## <クラブ協議会>

11:20 開会 矢野幹事  
会長挨拶 潮田会長  
来訪者紹介 潮田会長



潮田会長

11:25 ガバナー挨拶 新本ガバナー



新本ガバナー

11:30 クラブ協議会

①当クラブにおける奉仕活動の実績と今後の方針



江連社会奉仕委員長

②会員増強とローターアクトとの連携



岩田会員増強委員長



常見ローターアクト委員長

③“平和”への取り組み



矢野幹事

④公共イメージ向上への取り組み

矢野公共イメージ向上担当

12:10 講評 新本ガバナー、遠藤ガバナー補佐



新本ガバナー



遠藤ガバナー補佐

12:20 閉会 矢野幹事

## <例会> 卓話者・新本ガバナー

沖繩クラブは60年になります。私のロータリークラブは創立60周年と言うことで2580地区では7番目に古いクラブでございます。沖繩から60年の間に4人ガバナーが生まれて私で5人目のガバナーと言うことでご指名を受けましたので、皆さんこれからよろしくお願ひ申し上げます。

実は浅草中央ロータリークラブは初めての公式訪問です。なぜ浅草中央ロータリークラブを1番目に選んだと言うと、私にとって浅草は心の故郷と言うこともありますし、素晴らしいクラブ経営・運営をされている。藤掛さんが去年ガバナー補佐をされて色々懇意にして頂いたし、山尾さんには分区幹事を終えてほっとされていると思っていたと思いますが、私は山尾さんを口説き落として2年連続で大役を果たして頂きたいと言う思いをお願いをしましたら快く引き受けて頂きました。そういう意味も含めて、人間の縁と言うものを私は大切にしているつもりですので浅草中央ロータリークラブを始めに、これから71クラブを公式訪問すると言うことで、私にとっては素敵な会合に携わりスタートを切れると言うことを大変嬉しく思っております。

ロータリークラブに入って皆さん色々な方々からそして勧誘の仕方も教わったかと思えますけれども、先輩の方々からロータリーに入らないのかと言うお誘いを受けて今このように会場で心を1つにして今参加をしているわけでありませうけれどもロータリーに入るきっかけというのは人それぞれでございます。既にロータリーを知っておられて入られる方もおりますし、先輩から入ってみるよとなんとか言われて入会した方々もおられると思えます。

動機は皆違えども今このようにロータリーの会合に1つの空気を吸っていると言う現実。これは否定をするわけにはいきません。という事は我々自身の決断もありますけれどもこのような雰囲気の中に一緒にいられると言う事は誰かが何か目に見えない形で環境を整えてくれているのではないかと思っております。まさに日本で言われる一期一会だと思えます。

一期一会と言うのは今日お会いをしている皆さんとの、この時間は二度とやっこない。でもこの空気を大事にするかしないかと言うのはやはり我々の中で重要な意味を持っているだろうということが想像ができます。

先ほど潮田会長とお会いしたときに私は会長にこういうことを聞きました。「このクラブの良いところはどこですか?そして問題があるとすればどこですか?」と言う話を聞きました。良いところは、やっぱり先輩方がしっかりされていて雰囲気が良いと言うことをお聞きしました。という事は先輩方がこの環境をしっかり作ってこられて現在につないでいると言う風に感じました。

ですから会長が温故知新を掲げておりますが、温故とは先輩方がしっかりとこのクラブを引っ張っていることが温故、知新と言う事はこの会において今後どう運営していくかということについて若い方の意見もしっかりと取り入れながらこの会を運営していきたいと言うお話をされました。私はこれは大変素晴らしいことではなかろうかと言う風に思えます。

ロータリーがこれからどういう方向に向かっていくかと言う事はRIもそうですし地区でもそうですしクラブでも色々議論をされている事は皆さんご承知の通りでございます。色々な意見があつてしかるべきだと思います。一人ひとりの考え方が多種多様で人生観も違いますし環境も違う中でこの中で1つに集まっていると言う事は否定するわけにはいきません。従つてこの大事なことを踏まえながら、然らばどういう風に今後ロータリー活動を送っていくのかと言うことは、ある意味大きな決断と方向性を決めないといけない要素なのではないかと思えます。

毎年役員も変わりますし、RI会長も方針も変わります。しかし変わつてはならないところもしっかり勉強しなくてはなりません。これが大事だろうと思えます。

私は「奉仕の実践」と言うことを掲げました。その前にマローニ会長は「ロータリーは世界をつなぐ」と提唱されておりました。この言葉に、ロータリーの全てが集約されているのではないかなと思



います。マローニさんは弁護士であります。アラバマ州の農業を中心とする弁護士であります。ちょうどポールハリスが育った故郷とアラバマ州の故郷は似た環境であります。百何十年が経った現在、マローニさんが「自分はポールハリスと生まれたときの思いが何か似た感じがする」と仰られております。

ポールハリスさんはある意味寂しい思いをしていて、人は知っているけれども人との心の繋がりが無いので、何名かで集まってまずは楽しい話をしましょと言う事から始まって、とりあえず儲けをしようと言うことであります。けれどもただ儲けるだけでは楽しくないなと。まずはシカゴの街が荒れてると言うのもあってそこに公衆トイレを作ろうじゃないかと言う話から始まったようでありますが、ロータリーと言うのは儲けるだけの団体ではないんだなということを世間が認識し始めました。やはり金儲けだけでなく何か良いことをしているのがロータリーなんだなと世間が認識し始めた時に皆がロータリーに入会し始めたと言うのが原点だろうと思います。良いことをすれば良いことが起きるし仕事にも反映していくんじゃないかなという流れが今日に至っているんだらうと思います。

ロータリーの特徴と言うのはやはり結びつき。会員の職業は全て違えども心はいつも1つにできる。世界を回っているというも思うのが、ロータリーのバッチをしていると言葉が通じなくても心で通じ合える。そんな組織は世界中どこにもないと感じています。私はそういう意味でもロータリーをもう一度再発見して、そしてロータリアンであると言う自覚をしっかりと持つことによってこれからの人生にいろいろな面で寄与できるんじゃないかなと思っております。皆さんと一緒にそこは学び合いながら、一緒に手を携えながら意見を交換し幸せを追求していければそれ以上の目的はないと思います。

マローニさんの掲げる「平和」私も同じく平和と言う言葉にこだわりを持っております。私は1945年台湾で生まれましたけれども、戦火の中で九死に一生を得て生き延び、今日に至って十二分に平和を感じている1人であります。ましてや沖縄では二十万の人間が亡くなりました。そういう中で育っているので平和と言う言葉には非常に敏感です。お互いがいがみあうのではなく信頼しあって生きていこうではないかというのがロータリーの一環した考えでございます。それに私も感動しております。マローニさんは国際連合を軸にしてどの地域に住んでいようがみんなが心を1つにして、生きていればどんなことがあっても平和と言うものは築かれるのだということを仰られている。それを私もしっかり伝えていければと思っております。

今年も来月の3日に日本にいらっしゃいます。青森の八戸でIMがありますがそのクラブは二十数年出席率100%だそうなんです。マローニさんはそのクラブに対してどういう運営をされているんだらうと言う思いを持っておられるようです。まずは青森に行きたい、膝を交えて話をしたいと言うことで来月参りますが、我々がバナー会の34名も青森にマローニさん歓迎の意味で行き、そして福島、鎌倉、名古屋、東京含めて回ります。マローニさんは心と心を繋げていくと言うことを本当に大切に思い行動されておりますので、ぜひこの1年間皆さんとともに国際協議会と地区の皆さんと共に一体となってこの思いを伝えていきたいと思っております。来年度の大会は平和の思いとロータリーデーを実施して国際通りでチラシを配ったりしたいと思っております。

会長から先ほど公共イメージについて説明して欲しいとの事でしたのでお伝えします。公共イメージについては各地区の委員会にもありますけれども、今年度初めて正式に公共イメージ委員会を作りました。日本のロータリーは良いことをしますけれども、なかなか地域社会に話をしていない、伝えていません。やはり良いことをしたら皆さんで伝えて共感をしようじゃないかと感じておりますので、今後はマスコミ等を通じて発信をしていくということが大事だろうと思います。奉仕の実践と言うことになると、何もしないで公共イメージをアップすると言う事は難しいです。クラブが活性化していくためには、クラブならではの発想と実行力を持って地域の社会に答えていく、ということができるとすればマスコミも放ってはおけないと思っておりますので色々PRしていきたい

と思います。

幸い本日おいでの笠島さん、分区幹事でございますが、この区の社会福祉協議会の会長です。社会福祉協議会と言うのはどの市区町村にもございます。そして北区の会長もロータリアンなのですが、この間ガバナー事務所地区の社会奉仕委員長と4人で集まりました。私は那覇市の社会福祉協議会の会長でございますので、この地区に計3名の社会福祉協議会の会長がいるということになりますいろいろな面でインパクトを与えることができるだろうと考えております。従いまして台東区で何ができるのかということのリサーチして頂きたい。例えば那覇市では地域格差等の問題、シングルマザーの問題などありますが、貧困層の子供はご飯が食べられないという実態がありまして、それらを各区で子供食堂を作ったりして社会奉仕しています。具体的な問題がわかれば具体的な支援対策ができる。ぜひ会長幹事そして社会奉仕委員長の皆さんに音頭をとって頂いて、やれる範囲で方向性を決められて奉仕の実践を実行して頂きたいと思います。

あと一点強調したいのはローターアクトについてです。ローターアクトは今年の協議会で初めてローターアクトの会長を60名、日本からは会長2名を招待しました。それはRIが全額経費を持って行いました。ガバナーだけの会合ではなくローターアクトの会長達にも発言権を与えて一緒に会合を行いました。マローニさんはローターアクトを今後クラブの会員にしていくと言う方向性が出てきました。会費等の問題も出てきますけれどもまずはローターアクトを将来のロータリアンの候補にしていく、そうしない限りロータリークラブは縮小してしまうだろうと言う危機感を持っておられました。幸いなことに浅草中央ロータリーさんは2015年からローターアクト育成をしておりまして大変素晴らしい活動をローターアクトがやっておられます。それもやはり皆さんのご指導の賜物ではなからうかと言うふうに思います。

ローターアクトの前のテーマは「今に生きる」と言うことで1年を通したようです。今年のテーマをどういう風にしたのかと聞いたら「いちゃりばちよーでー」と言う言葉を今期のテーマにしたそうです。いちゃりばちよーでーと言うのは沖縄の言葉です。「お会いすれば皆兄弟」という意味ですが、それを彼らのターゲットにしたわけです。ローターアクトの皆さんがすでに動き始めていると言う事は我々ロータリアンはぜひ彼らをサポートして行って、そして我々の考え方をローターアクトに加えてもらって、そしてこれを我々が引き継いでいってもらえるようにすることが、これからの我々ロータリアンのとるべき方向性かなと言う風に思っております。いずれにしてもこの結びつきをやるのが我々の幸せになりそして世界がどんどんお互いが平和になっていく、そのことはロータリーが実証しているわけです。米山で850人の学生を年間十何万円も毎月出して世界中の人に勉強してもらって母国に帰っても日本を思い出してくれる、日本のための友好関係に結びついている、その学生さん方は将来政府の役人になる人もいられるでしょうし、そういう方々と手をつなぐことが我々の民間平和外交につながるのではないかと思います。

それと平和フェローシップがあります。それはICUでやっております10名近くの学生を国際紛争を解決する学問として勉強して国連やNPO何かに行って頑張ってもらう、そうすることが平和につながる。目に見えないところで堂谷和広はこういった活動しておりますのでその辺を含めてわれわれは展開をしていければと思っております。

ぜひこのつながり、このつながりは切っても切れない縁だと言うことをお互いが認識すればいろいろな面で素晴らしい展開ができるだろうと思っております。私はこのようにして皆さんとお会いできたこと、そしてこれから何らかの形でお付き合いができると言うワクワク感を持ってこの1年間頑張りたいと思います。遠藤ガバナー補佐、笠島分区幹事、今日は地区副幹事の谷さんもいらっやっています。そして山尾さんと今後一緒に活動して頂くと言うことで、会長幹事を始めとして頑張ろうと思いますのでご支援よろしく願いをして挨拶に代えさせて頂きたいと思います。どうもありがとうございました。